

せいい乳児院の窓から

第134号 2023年6月



長らく続いたコロナ対応期間でしたが、ようやく5月8日をもって一区切りがついたのでしょうか。このゴールデンウィークなどは、5類への引き下げを待たずに、各地の行楽地がコロナ禍前の活気を取り戻していたとのニュースが明るい口調で語られていました。

当院においても、職員のマスク着用に関して、表情が分かりにくい、食べる見本が見せられない、夏場に向けては息苦しい等の意見があり、早めに解除したいとは思っておりますが、今一步、踏み出せないと言いますか、もう少し世間の動態を見なければ、解禁にはできないと思っております。それは何より、ここで暮らす子ども達を守るためであり、安易な判断で危険な状態には晒したくないという思いからです。よって、保護者や関係者の皆様には、今しばらく、面会や見学、行事への参加等におきまして、ご不便をお掛けしますが、このような思いをご理解のうえ、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

(院長 常盤秀樹)

お花見



今年は桜の開花が早く、子ども達とワクワクしながら桜の木を探しに出かけました。子ども達と「さくら、きれい。ピンク色だね」と言って喜び、落ちている花びらを集めて春を楽しみました。桜の木をバックに「〇〇ちゃん、こっち見て～！ハイ・チーズ！」の声に、ニッコリ笑顔。可愛い写真が撮れました。



ご復活祭



4月9日、イエスキリスト様のご復活をお祝いしました。子ども達は、手遊びや絵本・パネルシアターを楽しんだり、シスター吉田からご復活についてのお話も聞いたりしました。その後は、栄養部さん手作りのかわいいうさぎやひよこのクッキーをみんなで美味しくいただきました。



こどもの日



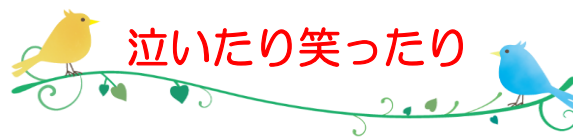
5月5日、男の子達は五月人形の前で写真を撮りました。色画用紙・のり・シールを使ってこいのぼりを製作したり、こどもの日にちなんだ絵本やペープサートを見たり、こいのぼりの形のクッキーを食べたりして、子ども達の成長と幸せを願ってお祝いしました。



遠足



お姉さんから「もうすぐバスに乗って遠足行くよ!」と知らされると「あと何回寝たら遠足?」と、心待ちにしていた子ども達。5月28日、天候に恵まれ、大好きなバスに乗って出発進行♪公園に着くと大きな恐竜のお出迎えにビックリしましたが、長いローラー滑り台・ブランコなど沢山の遊具を何度も楽しみました。お昼は、みんなで美味しいクマのおにぎりを頂きました。次はどこへ遊びに行こうかな〜♪と、計画中です。

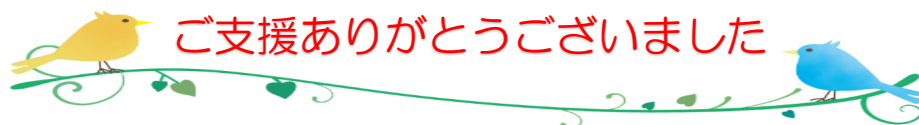


かもめ組 Mちゃん(1歳6か月)

食べることが大好きなMちゃん。いただきますの声に合わせて手をパチンと合わせたら、大きな煮野菜を手でつかんで、上手にかじって食べます。大好きなあまり、噛むのもそこそこに飲み込んでしまうので「カミカミ、モグモグね〜」と声を掛けていると“あなたもどうぞ”というように、笑顔でお姉さんの口元に煮野菜を差し出してくれるMちゃん、いつもありがとう。楽しくおいしく食べて、元気に大きくなってね。

つばめ組 Nちゃん(2歳10か月)

Nちゃんが泣いていた時に「大丈夫?」「大丈夫!」と声を掛けて慰めていたら、お友達に玩具を取られた時に、自分に言い聞かせるかのように「だいじょうぶ〜(涙)」と言うようになりました。最近、「大〜きなのっぼの古どけい、おじいさんのとけい〜(涙)」と歌うようになり、一緒に歌って慰めるのですが、なぜこの歌なのだろう…。Nちゃんは感受性が豊かだなあと思うのです。



2023年3月1日から5月31日までに、寄付にご協力頂いた方々のご紹介をさせていただきます。

【寄付金】 卯野賢一 北陸学院中学・高等学校 公益社団法人金沢法人会女性部会 酒田佳幸
武内利夫 OHTAKA KEIKO 県内団体 匿名4件

【寄付物品】 青森県りんご対策協議会 北新地区青森りんごの会
mu ne me ファウンダーモンテッソーリ教師あきえ 一般社団法人HUG&HUG
樋口日出夫 岩岸華子 押野校下婦人会 押野赤十字奉仕団 (敬称略)



■編集・発行 聖霊乳児院

〒920-0865 金沢市長町1丁目5番46号

TEL 076-223-2878 FAX 076-222-7589

HP <https://www.kanazawa-seirei.org/nyujiin/>